広報 天龍

第 206 号

2021年12月23日

私たちの村
－12月１日現在－
人口 1,169 人
男 556 人 女 613 人
世帯数 659 世帯

発行　天龍村役場
編集　総務課
印刷　斎藤印刷所

2021 天龍村 ～私の一枚～ フォトコンテスト結果発表

最優秀賞　村民賞

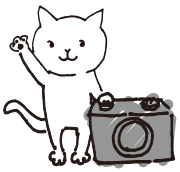
△「贅沢な茶席」お茶部門

観光協会賞

△「流れの彼方に」フリー部門

㈱飯田スタジオ賞

△「珍客」
ブッポウソウ部門

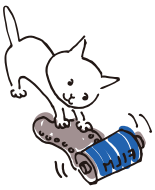


中日新聞社賞

◁「緑に埋もれて」お茶部門

信濃毎日新聞社賞

▷「満開の伊那小沢駅」
JR飯田線部門



南信州新聞社賞

▷「一体となって」
お祭り・伝統文化部門

令和３年５月から７月までに応募いただいた79作品の中から、６作品が７賞に選ばれました。

受賞されたみなさん、おめでとうございます！また、ご応募いただいたみなさん、村民投票や審査にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

▽最優秀賞・村民賞 前田美沙（天龍村）「贅沢な茶席」 ▽観光協会賞 鳴海寿勇（飯田市）「流れの彼方に」 ▽㈱飯田スタジオ賞 山岸憲一（東京都日野市）「珍客」 ▽信濃毎日新聞社賞 串原幸延（下條村）「満開の伊那小沢駅」 ▽中日新聞社賞 恩沢利弘（天龍村）「緑に埋もれて」 ▽南信州新聞社賞 宮澤信（中川村）「一体となって」

村表彰・国民健康保険健康家庭表彰

令和3年度村表彰及び国民健康保険健康家庭表彰の授与式が11月21日㈰の天龍村文化祭の中で行われました。

本年度の受賞者は次のみなさんです。おめでとうございます。

表彰状

○(故)柿下忠雄さん（中井侍区）

生前にわたり、農業振興に多大な貢献をされました。

感謝状

○滝沢英夫さん（埼玉県）

○山田八重さん(神奈川県)
○冨田次郎さん（滋賀県）
○小林健児さん（埼玉県）
○内藤　博さん（東京都）
○村澤賢治さん（千葉県）

村に多額の金員を寄附いただきました。

○公益財団法人南信州地域資料センター様(飯田市)
○田島百合子さん(東原区)

村に貴重な絵画などを寄贈いただきました。

国保健康家庭表彰

【村表彰】

○安達トシ子さん(本町区)
○大平晃与さん（岡本区）
○吉澤幸男さん（鶯巣宇連区）

国民健康保険の被保険者であり、3年以上にわたり保険証を使用しなかった世帯で、国民健康保険税を完納した世帯のみなさんです。

衆議院議員総選挙結果

10月31日㈰に行われました衆議院議員総選挙の結果は次のとおりです。

◇◇◇

◇当日の有権者数
男　520人
女　573人
計　1，093人

◇投票者数
男　375人
女　391人
計　766人

◇投票率
男　72・12％
女　68・24％
計　70・08％

◇◇◇

◇小選挙区選出議員選挙
○有効投票数　759票
○無効投票数　7票
○候補者別得票数(届出順)
宮下　一郎　502票
曽我　逸郎　257票

◇比例代表選出議員選挙
○有効投票数　727票
○無効投票数　39票
○政党別得票数(届出順)
国民民主党　14・457票
立憲民主党　185・542票
社会民主党　16票
公明党　62票
日本維新の会　25票
日本共産党　40票
自由民主党　360票
れいわ新選組　16票
NHKと裁判している党　16票
弁護士法72条違反で8票

故村澤庄治氏に叙位

本年8月9日に亡くなられました長野区の故村澤庄治氏に、位記（従六位）が授与され、11月9日㈫に天龍村長より伝達されました。

故村澤氏は、平成5年5月から平成25年4月まで5期20年の長きにわたり、天龍村議会議員を務められ、平成17年5月からの2年間と平成21年5月からの2年間の計4年間は、議長として円滑な議会運営に尽力しました。在任中は関係機関に対する要望活動や連絡調整に尽力し、特急伊那路号の平岡駅停車の実現、清水地区から折立地区間の清水トンネル開通など、村の発展に大きく貢献しました。これら、地方自治の発展に尽力された功績が認められ、今回の受章となりました。

天龍村租税教育推進協議会 令和3年度 税に関するポスター・作文の受賞者

天龍村租税教育推進協議会では、租税教育の一環として次の世代を担う子供達に税について関心を持ってもらい税の大切さを知ってもらうため、毎年、小中学生を対象として「税に関するポスター・作文」の募集を行っています。

本年度は、小中学生あわせて24名よりポスター・作文の応募をいただき、11月９日㈫に天龍村老人福祉センターで表彰式が行われました。各賞を受賞されたみなさんおめでとうございます。

◎ポスター

賞　名	学校名	学年	氏名
	作品名		
天龍村租税教育推進協議会長賞	天龍小	6年	遠山蔵之助
	税金で未来を育てよう		
飯田税務署長賞	天龍小	6年	宮下　佳穂
	税金のおかげで豊かな生活		
天龍村租税教育推進協議会特別賞	天龍小	6年	藤澤　幸音
	税金を払うから全部無料		

◎作文

賞　名	学校名	学年	氏名
	作品名		
天龍村租税教育推進協議会長賞	天龍中	2年	熊谷　彩香
	日本と世界の税		
飯田税務署長賞	どんぐり向方中	2年	小山　杏奈
	税金の大切さ		
南信県税事務所長賞	どんぐり向方中	2年	土肥　秀太
	将来へ向けての税金		
飯田地区納税貯蓄組合連合会特別賞	天龍中	3年	熊谷　彩葉
	大切な税金		
天龍村教育長賞	どんぐり向方中	1年	杵渕　拓生
	税金は本当に必要なのか		
天龍村商工会長賞	天龍中	1年	熊谷　朋哉
	税を知ること		
天龍村青色申告会長賞	天龍中	2年	中島　陽翔
	日本社会と税金		
㈱飯田法人会天龍支部長賞	どんぐり向方中	3年	池上　才雅
	身近な税の使いみちについて		
関東信越税理士会飯田支部長賞	天龍中	1年	熊谷　好晴
	税金の大切さ		
飯田信用金庫天龍支店長賞	天龍中	2年	遠山　楓
	税金がなかったら		
みなみ信州農業協同組合南信濃支所長賞	天龍中	3年	熊谷　美桜
	税は命を守っている		
平岡郵便局長賞	天龍中	3年	板倉　寧々
	税が存在する意義		
飯田間税会長賞	どんぐり向方中	1年	大石　璃夢
	税金の仕組み		
天龍村議会議長賞	天龍中	1年	山﨑　瑛翔
	税の作文		
天龍村租税教育推進協議会特別賞	天龍中	2年	成瀬　陽人
	消費税増加の理由		
	天龍中	2年	山﨑ここね
	人と税金		
	どんぐり向方中	1年	白井　斗翔
	ぼくたちの身近な税金		
	どんぐり向方中	3年	滝川　大智
	税金について		
	どんぐり向方中	3年	佐藤　僚真
	「税」の価値		
	どんぐり向方中	2年	五味　暖翔
	税について		
	どんぐり向方中	3年	後藤　成八
	税の大切さ		

みんなそろって記念撮影

ふるさと寄附金 ありがとうございます

広報天龍第205号10月号）で公表後、11月30日現在で次のみなさんから寄附をいただきました。（ご希望の方のみ、氏名を掲載させていただきます。）

●彦坂裕三郎様●佐藤弘美様●今野正臣様●片桐裕一郎様●石原一弘様●澁田翔平様●横澤善久様●吉田定宏様●三谷豊章様●荒木信伍様●五十嵐晴菜様●渡辺　弘様●佐々木航様●中田かる奈様●里深多加子様●若林美栄様●中本博幸様●山本幹雄様●佐々木健治様●羽場篤嗣様●今西和衛様●川上賢治様●吉田健真様●岸　哲史様●鈴木大城郎様●大槻隆之様●中村朝子様●岡　勇輝様●正路盛也様●宇土晃央様●夕部幸一様●北　真登様●三澤智松様●石田真一様●岩本和樹様●山田由紀子様●長江　豊様●林　浩二様●大関健治様●市村智之様●長谷川裕也様●倉田道雄様●今野　玲様●時高将彦様●彦根可奈様●小林正明様●小寺山いずみ様●滝沢英夫様●小林匡史様●磯　杏奈様●森正広和様●石澤芳瑠様●三澤智佐子様●川口英紀様●久保田眞理子様

今回は322名の方から寄附をいただきました。ありがとうございます。

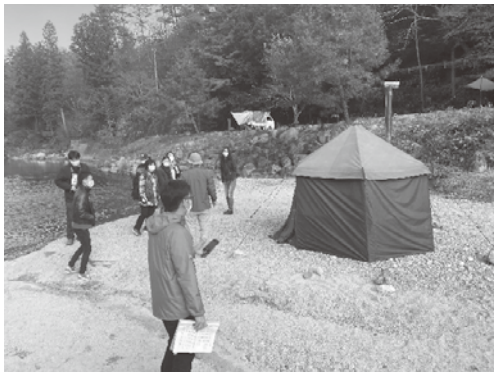
天龍村ふるさと寄附金は、村のホームページのほか、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」などからもお申込みができます。決済方法は金融機関からの振込みのほか、クレジットカードも可能です。電話、ファックス、役場窓口でも承ります。

◎ふるさとチョイス
http://www.furusato-tax.jp/

和知野川キャンプ場＆向方区で「つながり人口創出事業」フィールドワークを実施しました

村では2019年より「天龍つなぐカレッジ」と題し、都市部に住みながら村と関わりを持ち、村の地域活動に参加・協力いただく事業を行っています。

向方地区にて



テントサウナ体験の様子

今年度からは「秘境大学」と改め、11月20日㈯～ 21日㈰の２日間、天龍村の魅力を知り、観光資源の活用方法を探るためのフィールドワークを実施しました。

フィールドワークでは、１日目に和知野川キャンプ場でテントサウナの体験を行い、キャンプ場の活用について意見交換をしました。２日目は向方地区で信州サーモンの試食や薪割り体験を行いながら、地区の方からお潔め祭りについてお話を聞き、意見交換を行いました。今年度からの参加者の中にも、来年のお祭りに参加を希望する方もいらっしゃいます。

都市部との交流事業では、村の資源を活かすためのイベントを今後も開催していきます。その際は村民のみなさんのご協力をお願いします。

移住者交流会を開催しました

10月30日㈯、和知野川キャンプ場にて移住者交流会を開催し、大勢の参加者がキャンプ場を訪れました。移住者交流会は昨年度に引き続き、ＮＰＯ法人ツメモガキに委託し実施しました。今回は向方里山協議会協力のもと、安全な火のおこし方講座や、スラックラインの体験会開かれました。ほかにも村内外からブースを募り、ティースタンドやジビエの加工品など様々な出店があり、にぎやかな交流会となりました。参加者もたき火をかこみながら、ブースで買ったものを飲食し、終始楽しそうな様子がうかがえました。

移住定住推進係では今後も引き続きこのような新たなつながりや交流ができるイベントを開催したいと考えております。大勢のみなさんのご参加をお待ちしています。

交流会の様子

新協力隊員　小幡厚子（おばたあつこ）

はじめまして！

11月1日より地域おこし協力隊として活動を開始致しました、東京都品川区から参りました小幡厚子と申します。

天龍村とのご縁は4年ほど前、テレビ番組で存在を知り、移住目的で役場に連絡をしたのが始まりでした。

訪れる度に村のみなさんの温かさに触れ、天龍村の魅力にハマっていきました。私自身は未病克服と父の癌闘病がきっかけで、分子栄養学や予防医学を学び、薬や病院のお世話にならずに天寿を全うするには何をしたら良いかを追求してきましたが、里山の環境に可能性を感じ、移住を決意するに至りました。

来年の夏には、おきよめの湯の前に「多目的カフェ」をオープンする予定です。村内外の方達に喜んでいただけるような拠点作りをし、少しでもお役に立てるようにと思います。

宜しくお願い致します。

ゆずすけの「赤いイナズマ」6次化大賞を受賞！

11月10日㈬～12日㈮の3日間、新潟市で食の国際総合見本市フードメッセinにいがたが開催されました。

天龍村からは、合同会社ゆずすけが「香りダレゆず胡椒　赤いイナズマ」を出展され、見事6次化大賞を受賞されました。

おめでとうございました！

また、同会場では、6次化大賞表彰式・受賞者プレゼンテーションも盛大に行われました。

受賞された「赤いイナズマ」のお問い合わせ先　合同会社ゆずすけ　☎（31）0580

ICTネットワーク事業タブレットを更新しました

11月から、くらし安心ICTネットワーク事業で高齢者のみなさんが利用しているタブレット端末の更新とシステムの仕様を変更しました。

新しいシステムは「LINE」を利用し、タブレット利用者間やタブレットを利用していない方ともメッセージや動画のやりとりができます。

今回の更新にあたり、村内各地で操作説明会を開催し、多くのみなさんが参加しました。

まだタブレットを利用していない方も、インターネットを見たりご家族・友人とメールや動画をやりとりしてみませんか。

興味のある方は住民課地域包括支援センター（32）1021までお気軽にお問い合わせください。

新たに導入したタブレット

国道418号（仮称）神原トンネル工事現場見学会実施

福島地区と的瀬地区を結ぶ（仮称）神原トンネル工事現場見学会を11月20日㈯に実施しました。

午前と午後の部合わせて37名の方々にご参加いただき、あまり見ることのできないトンネル工事現場の雰囲気を感じたり大きな特殊重機に驚きの声が上がるなど、大変有意義な見学会となりました。

今後も1日およそ5ｍのペースで掘削が進み、令和4年度を目途に供用開始となる予定です。

参加者で記念撮影（午前の部）

参加者で記念撮影（午後の部）

第20回 パターゴルフ大会開催！

11月7日㈰に第20回天龍村長杯パターゴルフ大会がニセンジパター&マレットゴルフ場で開催され、19名の方に参加していただきました。

天候にも恵まれ、ホールインワンが出るなど数多くの好プレーが見られました。

今回の優勝者は、中井侍区の大平邦芳さんでした。おめでとうございました！

既にニセンジパター&マレットゴルフ場は冬季休業に入っていますが、来春にはまたオープンしますので、ぜひお誘いあわせの上お越しください。

参加者で記念撮影

令和4年度 地域発元気づくり支援金の事業を募集します

地域発元気づくり支援金事業は、市町村や公共的活動を行うNPOなどの団体が実施する「地域の元気を生み出す、モデル的で発展性のある事業」に対し助成する事業です。

募集期間　令和4年1月4日～25日
※県への提出期限と異なります

応募書類の提出先　地域振興課移住定住推進係

参考
《直近の採択事業》
・天龍村移住交流イベントの開催（令和元年度・令和2年度・令和3年度）
・オリパラ木材提供PR活動（講演会）（令和元年度）
・ラジキャリの導入（平成30年度）
・ていざなす育苗施設の整備普及活動（平成30年度）

※本事業を検討される方は、事業概要や条件などをご説明しますので、事前に地域振興課移住定住推進係までお問い合わせください。☎32-1023

通勤助成金の受付を開始します

天龍村定住促進事業による通勤助成金の申請を開始します。
下記に該当する方は通勤助成金の支給対象となりますので、役場へ申請書を提出してください。

該　当　要　件

①～③のすべてを満たすことが条件です。

① 1月1日の申請基準日において天龍村に居住及び住所を有し、かつ永住の意思がある方
② 16歳以上で村外に勤務されている方（年齢の上限はありません）
③ 通勤日数が月15日以上の方（月15日未満は支給対象外です）

助　成　内　容

・2021年１月～12月までの間の勤務実績に応じて、通勤距離１㎞あたり10円（月最大10,000円）の助成を行います。消防団員の方は助成総額に10％を加算した額を支給します。
・助成の内容については、総額の1／3を翌年度村内のガソリンスタンド（以下ＳＳ）で使えるクーポン券で支給（端数切り捨て）し、残額を現金で支給します。

（例）助成額が80,000円の場合

【クーポン券支給分】	【現金支給分】
80,000円×１／３＝26,666円→ **26,000円** ●翌年度村内SSで使えるクーポン券として交付（1,000円券×26枚）	80,000円－26,000円（クーポン券）＝ **54,000円** ●54,000円を年度末に現金振り込みで支給

※村内SSクーポン券で利用できるものの例：給油、灯油配達、タイヤ、オイル交換、洗車
※SS発行の専用カードへの入金など、換金性が高いものには使用できません。

提　出　書　類

① 住民票の写し
② 申請書（役場、南支所、村のホームページからダウンロード

（　行政情報　→　くらしと手続き　→　申請書　→　申請書ダウンロード　）

※会社などへの就業証明は、就業先に申請書内にある該当箇所への記入押印を依頼してください。

受付期間・受付場所

役場（地域振興課）または南支所へ令和4年（2022年）１月４日㈫～ 31日㈪までに提出ください。

▼　▼　▼　▼　▼

ご不明な点がございましたら、地域振興課移住定住推進係へお問い合わせください。☎32-1023

～国保加入者の方へ 歯科健診のおすすめ～

村では国民健康保険加入者の健康づくり事業の一環として歯科健診を行っています。

歯周病等があると心臓病や糖尿病、肺炎、早産などになることがあります。お口の健康を保つことが、身体の健康への第一歩です。特に自覚症状はなくても、お口の状態を確認したい方など、ぜひこの機会に受診しましょう。

◎対象者
天龍村国民健康保険の加入者で、令和３年４月１日現在 20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の者

◎対象者
10月上旬に案内通知と受診券を送付してあります。

◎健診期間
令和３年10月１日から令和４年２月末日

◎健診費用
一、〇〇〇円
※健診により治療が必要な場合は、その治療費は本人負担となります。

◎対象医療機関
飯田下伊那歯科医師会所属の歯科医院（一部の病院を除く）

◎予約方法
対象医療機関へ直接予約をお願いします。

◎受診時に必要なもの
受診券・被保険者証・お薬手帳（無い場合は、不要です）

◎問い合わせ先
住民課 健康支援係 ☎32-1021

「年末の交通安全運動」実施中

運動の重点　令和3年12月15日㈬～12月31日㈮まで

①**「夕暮れ時・夜間の歩行者事故とスリップ事故の防止」**
　夜間は「原則上向きライト」・反射材の着用
②**「高齢運転者の交通事故防止」**
　あわてず丁寧な安全確認
③**「飲酒運転などの悪質・危険な運転の根絶」**
　飲んだら乗らない・乗るなら飲まない
　乗る人には飲ませない・飲んだ人には運転させない
　妨害運転（あおり運転など）の防止
　「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持つ

年末を迎え、何かと慌ただしくなりがちですが、運転者・歩行者とも時間に余裕を持ち、落ち着いて安全に行動することで、交通事故を防止しましょう。

☆**ハンドルキーパー運動を推進しましょう。**

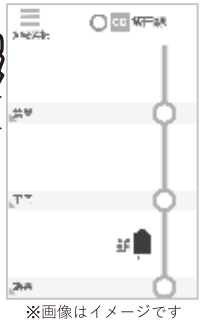
ハンドルキーパーとは、飲酒店などに行く場合、お酒を飲まないで仲間を自宅まで送り届ける人のことです。

JR飯田線 運行情報

○ネットで運行情報がわかります
○HPで列車の位置もわかります
○Twitterでプッシュ通知すると
　列車遅延時にお知らせします

飯田線 HP

飯田線 Twitter



※画像はイメージです

初笑い 新春天龍寄席

出演　☆落語家☆

三遊亭 金馬

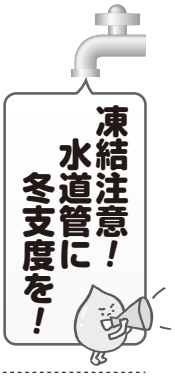
とき　令和4年1月16日（日）
　　午後1時20分より

ところ　文化センター なんでも館
※どなたでも無料で観覧いただけます。

主催　天龍寄席実行委員会
☎32-3206

三遊亭金馬 師匠

凍結注意！水道管に冬支度を！



年末年始を控え、厳しい寒気が訪れ、水道の凍結が心配される時期になりました。みなさんの家庭では水道の冬支度はお済みでしょうか？

もう一度次の事項の確認をお願いします。

●メーター器ボックス内を十分保護してください。

●屋外にむき出しで見えている水道管には、保温材を巻いてください。特に立ち上がり部分は、地中へ最低20㎝は保温材を巻いて、蛇口部分も保護をお願いします。

●不凍栓がある場合は、寝る前に必ずバルブを閉め、蛇口をしっかり開いて水抜きをお願いします。

●凍結により、水道管が破裂し漏水した場合は、メーター器ボックス内のバルブを右に回し閉めてから、村指定の水道工事業者へ修理を依頼してください。

（建設課 環境水道係）

冬本番！除雪作業・塩カルについて

●冬期間における通行と生活の安全確保のため、積雪10㎝を目安に早朝から除雪作業を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

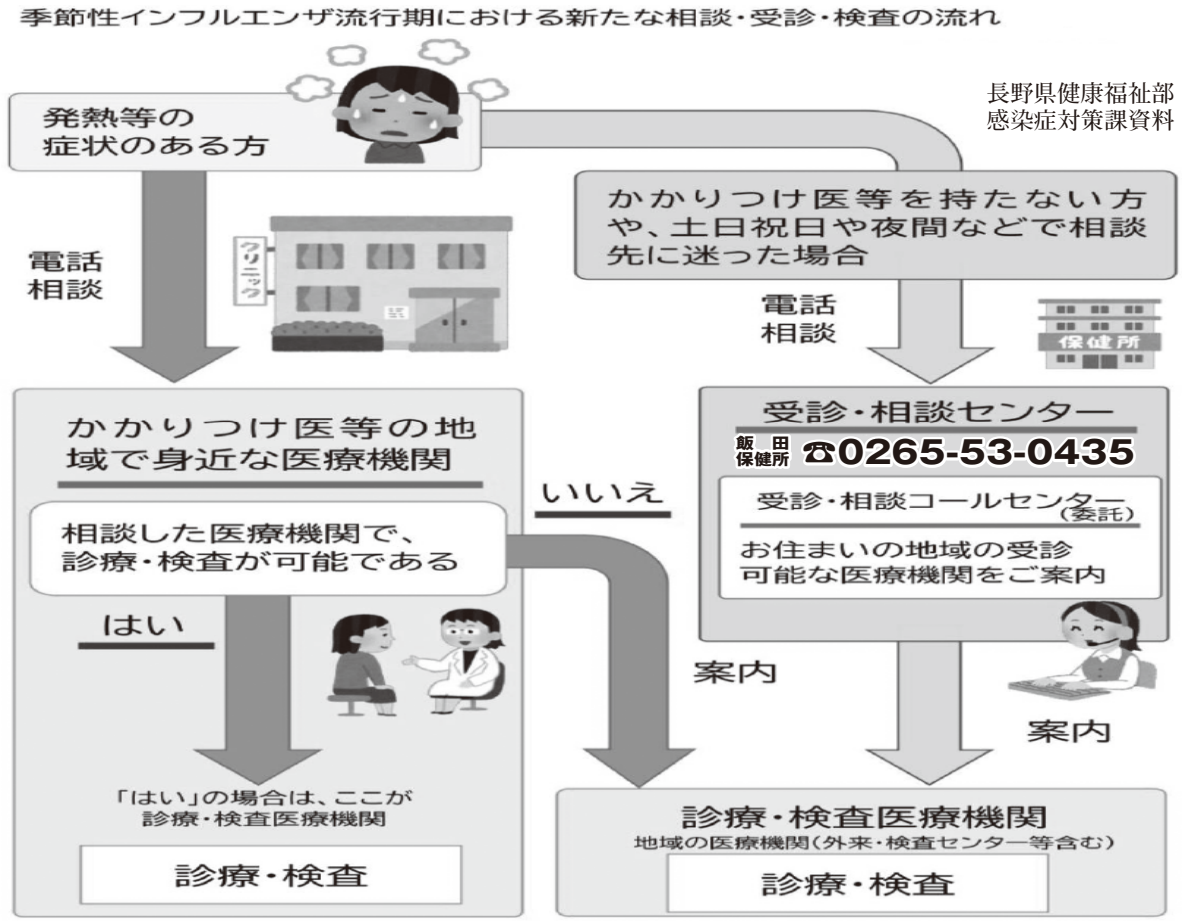
●一部の凍結危険箇所へ塩カル・滑り止めの砂を設置していますのでご利用いただき、残量不足などお気づきの方は連絡をお願いします。塩カルは役場及び南支所にストックしています。公共の道路で散布の必要がある場合はご連絡ください。

（建設課・地域振興課）

JR東海HPやTwitterを見られない場合は、050-3772-3910（6時～24時）

季節性インフルエンザの流行期に備えた体制について

以下のとおり、発熱等の症状が生じた場合、まずは、かかりつけ医等身近な医療機関に電話相談をしていただくようお願いいたします。



保健師だより

「セルフケア」と「セルフメディケーション」

私たちの身体には、病気を予防したり、けがなどから回復したりする**自然治癒力**が備わっています。そして、**薬**は体力を回復させたり、症状を和らげたりして人間の自然治癒力を助け、健康な状態を取り戻すのに役立ちます。

自分の健康に関心をもち、身体の症状や状況に応じ適切に行動して、健康を維持管理することを「セルフケア」と呼びます。このセルフケアと自然治癒力により、私たちは健康的な生活を送ることができます。

セルフケアで自分の健康は自分で守りながらも、身体に軽度な不調が生じた場合、市販薬（OTC医薬品）を使用して自ら手当てすることを「セルフメディケーション（自主服薬）」といいます。

セルフケアにより健やかな生活を送るため、次の項目を参考に**セルフメディケーション**を効果的に行ってみましょう。

◎規則正しい生活を送る

不規則な生活や食事、睡眠不足などで体力や抵抗力が落ちると、かぜをひいたり、症状を悪化させたりすることがあります。また、不摂生が続くと生活習慣病を発症させてしまうことがあります。きちんと食べること、適度な運動、十分な睡眠と休息で病気になりにくい身体をつくりましょう。

◎市販薬を上手に使う

市販薬（OTC医薬品）を使い、からだの軽度な不調は自分で手当てしましょう。OTC医薬品は処方箋がなくても購入できるので、病院などでの待ち時間の節約や、医療費の軽減にもなります。OTC医薬品は、例えば「食べ過ぎた時に飲む胃腸薬」「肩こり腰痛に貼る湿布薬」などです。

◎健診・検診を受診する

定期的に健診やがん検診・歯科検診を受けて、自分のからだと心の健康状態を知りましょう。また、治療中の病気がある場合は、コロナ禍であっても受診を控えることなく、治療を続けてください。

◎衛生管理

外出後や食事前などには、流水と石けんによる手洗いを行い、マスクの着用、アルコール手指消毒、換気などを心がけ、感染症予防を習慣づけましょう。

◎正しい情報

健康の維持・増進のためには、正しい情報を得ることが重要です。健診の結果やOTC医薬品の使用法などで分からないことは、かかりつけの医師、薬剤師、管理栄養士、保健師などに相談してください。

令和3年（2021年）村のおもなできごと

〇第 6 次天龍村総合計画（令和 3 年度～ 12年度）策定
〇第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
〇国直轄地すべり対策事業　平岡地区内で着工　今後約20年続く大型事業が本格化
〇（仮称）神原トンネル掘削開始
〇平岡駅前活性化施設・住宅着工　令和 4 年 3 月の完成目指す
〇天龍村国民健康保険診療所　水谷医師を迎え開所
〇ICU（国際基督教大学）との協定締結
〇東京2020五輪への木材提供を記念し、木製時計を全世帯へ配布
〇併設学校整備室設置
〇新総合体育館施設整備事業着手（小学校プール・体育館　解体）
〇交通死亡事故ゼロ9,000日達成
〇下伊那生コン組合と災害支援協定を締結
〇川西政幸氏（前天龍村診療所長）　県知事表彰受賞（保険衛生表彰「へきち医療」）
〇新型コロナウイルスワクチン集団接種実施
〇GIGAスクール構想　１人１台端末整備・ICT支援員配置
〇副村長に竹田順次氏就任
〇教育長に村澤資憲氏就任
〇教育委員に宮澤くるみ氏選任
〇村議会議員一般選挙執行　議長に熊谷美沙子氏　副議長に後藤知久氏就任

年末年始のご案内

	12/28㈫	12/29㈬	12/30㈭	12/31㈮	1/1㈯	1/2㈰	1/3㈪	1/4㈫
ふれあいステーション龍泉閣【２階フロント、売店】	○	○	△	×	×	×	○	○
	通常営業		13時閉店	休業			通常営業	
【１階レストラン】	○	○	△	×	×	×	○	○
	通常営業		14時閉店	休業			通常営業	
【４階ラウンジ】	○	○	×	×	×	×	○	○
	通常営業		休業				通常営業	
龍泉の湯	○	○	△	×	×	×	○	○
	通常営業		正午～18時受付終了19時閉館	休業			通常営業	
天龍温泉おきよめの湯	○	○	△	×	×	○	○	○
	通常営業		17時受付終了	休業		通常営業		
レストラン湯とり	○	×	×	×	×	○	○	○
	冬季営業	休業				冬季営業		
図書館	○	×	×	×	×	×	×	×
	通常開館	12/29～1/4休館（1/5㈬から通常通り開館します）						
村営バス（天候等により、臨時便または運休の場合あり）	○	○	○	△	×	○	○	○
	通常運行			午後運休	運休	通常運行		
広域バス平岡線（平岡⇔和田）	○	○	○	×	×	×	×	○
乗合タクシー平岡線（平岡⇔和田）	○	○	○	△	×	△	△	○
	通常運行			土日ダイヤ	運休	土日ダイヤ		通常運行
天龍村国保診療所	○	×	×	×	×	×	×	○
	通常診療・夕診18：30受付終了	休診						通常診療・夕診18：30受付終了
年末年始の可燃ごみ回収	○	×	○	×	×	×	×	○
稲葉クリーンセンター受け入れ	○	○	○	×	×	×	×	○

【その他】消防団では12月27日㈪～ 29日㈬の間、年末警戒（夜警）を行います。また、新年 1 月 8 日㈯に出初式を行います。
可燃ゴミの収集は、向方・大河内地区は12月30日㈭まで収集を行い、年始は 1 月 6 日㈭から収集を行います。
それ以外の地区は、12月28日㈫まで収集を行い、年始は 1 月 4 日㈫から収集を行います。

「小中学校併設体験」の様子から

来たる天龍小中学校併設に向けて、両校では今年度「小中併設体験日」を設けています。その取り組みの様子を紹介します。

概　要

小学生と中学生が同じ小学校の校舎で朝から夕方まで一日共に活動します。

ねらい

校舎利用や共同生活のあり方を探り、更には普段一緒に過ごすことのない仲間や先生から多様に学ぶことをねらいとしています。

第一回目（9月8日㈬）

○内容…小学校の日課での生活、職員の交流授業

○感想…「人数が多くてドッチボールが楽しかった」（小児童より）「授業が新鮮だった・違う発見があった」（中生徒より）

○課題…時間割を小中別にしたい、チャイムをどうするか、給食運搬時の混雑をなくす、きまりを統一する、小中一貫した授業をつくる（先生方より）から、次のチャレンジへ動き出しています。

天龍村学校アドバイザー伏木久始信大教授のご講演

第一回目の併設体験から貴重な成果と今後の課題が得られました。その課題をもとに次の一歩を進めるため、11月8日㈪天龍村学校アドバイザーの伏木先生からご講演（リモート）をいただきました。

演　題

「人口減少時代の小規模校に求められる教育」

参加者

教育委員会、小・中学校職員計20名

感　想

・併設に向けて小中でそれぞれ大事にしていることを上手にすり合わせる。
・小中学生が同じ空間で過ごすため、発達段階に合わせた子ども理解が必要だと考えさせられた。
・色々な面で教師自身も子どもたちと試行錯誤してよりよい学校にしたい。
・一人の子どもを小中で一貫して育てること。
・地域の方々と一緒に創り上げることも学んだ。

そこで…

第一回目の課題とご講演から、次のチャレンジへ動き出しています。

第二回目の体験日へ

期　日

12月21日㈫

今回試すこと

○併設版日課表
・小学生45分授業
　中学生50分授業
・給食の開始時間を小中で5分ずらす
・一時間目、五時間目の開始を同じにする
・掃除の時間を合わせる

○小中共通の生活ルール
・廊下は静かに右側歩行
・遊び場では周りを見て

○共通した授業スタイル
・学習の展開
・黒板への記入事項
・振り返りの充実

よりよい併設に向け、回を重ねていきます。

小中職員の打ち合わせ会

おやす・しめ縄、餅つき大会

天龍小学校で「おやす・しめ縄、餅つき大会」が、12月8日㈬に行われました。

正月を迎えるためのしきたりや、ならわしの体験を通して伝統行事の良さを知ることを目的として行っています。

今年も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、シニアクラブのみなさんのご指導の下、子ども達が「おやす・しめ縄」作りを体験しました。

最初は慣れない作業に苦戦する様子もありましたが、講師の方の指導を受ける中でそれぞれ自分の「おやす・しめ縄」を完成させることが出来ました。

また、昨年は感染対策のため出来なかった餅つき大会も今年は開催でき、小学校の田んぼで収穫されたもち米を臼と杵を使い、児童たちが一生懸命ついて美味しいお餅にすることが出来ました。

出来たお餅は、その後の給食で振舞われ、お世話になった講師の方々と一緒に、それぞれの教室に分かれて味わいました。

子ども達にとって日本の伝統行事を学ぶよい機会となったと思います。

ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

おやすしめ縄

餅つき